

ゾーニング素案(第3案)

利活用の中心となる9のゾーン



※地図データ ©2023 Google

共通方針 ①

ゾーン毎の管理

各ゾーンの事業実施者等が管理を担い、連携体制を構築することで「秩序ある観光地」を目指す。

共通方針 ②

利用ルールの策定

秩序ある利用の徹底を目的に、ゾーン毎に環境特性を考慮した上で両ルールを制定する。

共通方針 ③

民間活力の導入

賑わいを創出するゾーンや、体験学習等のコンテンツ造成を目指すゾーンでは、地域の事業者を中心とした民間活力の導入を検討する。

共通方針 ④

河川整備の活用

利用者や民間事業者のニーズに応じて、河川空間の整備を検討し、魅力的な水辺空間を創出する。

各ゾーンの利用方針

A. 親水ゾーン

利用方針

河川の活用による賑わい空間

想定される用途

- 親水利用(無料)
- BBQ・デイキャンプ(有料)

B. 豊かな自然ゾーン

利用方針

環境保全の促進による自然環境を体験できる空間

想定される用途

- 農業・生物観察体験学習
- 花畑の再生

C. 曼珠沙華ゾーン

利用方針

曼珠沙華群生地を体験する公園

想定される用途

- 都市公園(散歩等)
- 曼珠沙華祭り等のイベント

D. アクティビティゾーン

利用方針

広大な空間やハイキングコースとの接続を活かした賑わいの創出

想定される用途

- イベント開催
- キャンプ場・アクティビティ(有料)

E. 賑わい創出ゾーン①

利用方針

グラウンド敷地等を活用した民間事業者による観光事業の展開

想定される用途

- イベント開催・駐車場
- 民間事業者の提案事業

F. 生態系保全ゾーン

利用方針

環境保全の推進による生物多様性に富んだ空間

想定される用途

- 生物観察体験学習

G. 賑わい創出ゾーン②

利用方針

河川空間の活用による賑わい空間

想定される用途

- 民間事業者の提案事業

H. 交通機能ゾーン

利用方針

交通利便性の向上に資する空間

想定される用途

- 荷下ろし場・駐車場

I. 賑わい創出拠点(高麗郷古民家)

利用方針

本エリアの賑わい創出の中心拠点

想定される用途

- 宿泊・ワーケーション
- 歴史体験学習